

寒い冬…水道管も凍ります 万全な冬支度を！

気温-4℃以下は危険信号 🐼🐼🐼

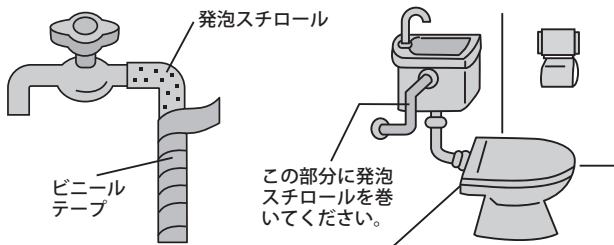
水道管の凍結・破裂は、気温が上がらない日が続いた時や朝の冷え込みが厳しい時(-4℃以下)に多く発生します。水が出なくなったり凍結による破損事故が発生したりすることもあり、高い修理費用がかかってしまう場合もあります。早めに水道管の冬支度を整えましょう。

問営業課…☎(228) 3867

凍結から水道管を守るには

▶水道管を保温する

露出している水道管は、発泡スチロール・布切れなどを巻いて保温しましょう。



▶給湯機器にも防寒対策をする

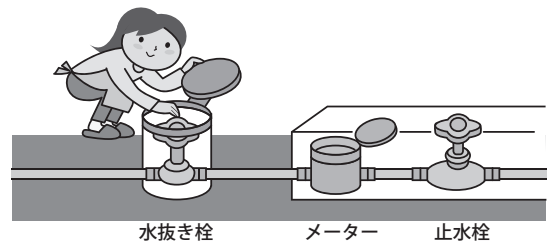
温水機器や給湯配管も凍結・破損する場合があります。少量の水を出したり水抜きをしたりするなど防寒対策をしましょう。

また、防寒用機能を備えた機器もあるので、ご利用をおすすめします。不明な点は機器メーカーやガスなどの供給会社へお問い合わせください。

▶水抜きをする

夜間や長期間水道を使わない時は、水抜きをしておきましょう。水抜きをする時は、水抜き栓(不凍栓)バルブを右いっぱい回し、必ず蛇口を1か所開けてください。

※水抜き栓バルブは、開・閉ともいっぱい止まるまで回さないと漏水する恐れがあります。



▶水を出しておく

水抜き栓がないご家庭や翌朝特に冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さくらいに水を出しておくのも有効です。

水道管が凍結した時は

水道管が凍結した時は蛇口をいっぱい開け、タオルをかぶせ、ゆっくりぬるま湯をかけて温めてください。一気に熱湯をかけると、蛇口や水道管を傷めるだけでなく、やけどなど思わぬケガのもとになります。

水道管が破裂した時や上記の方法で凍結が解けない場合は、**甲府市管工事協同組合**〔☎(228) 8851〕または最寄りの**指定給水装置工事業者**〔上下水道局ホームページ (<http://www.water.kofu.yamanashi.jp/>) に掲載〕へ修理を依頼してください(修繕費は自己負担)。

※破裂した時は、止水・水抜き栓で水を止めてください。

◆受水槽がある建物は

受水槽が設置されている3階以上のビル・マン

ションでは、建物の所有者が受水槽の維持管理を行います。

故障や破裂などの場合、建物の所有者・管理人に連絡して修理を依頼してください。

★下水道使用料の徴収を受託します★

平成25年4月1日から旧敷島町(甲斐市)・旧玉穂町(中央市)・昭和町の下水道使用料の徴収を受託します。各市町の下水道使用料を、今まで徴収していた水道料金と一括して徴収することになりました。

★新しい給水車を配備しました★



地震などの災害時に円滑な応急給水ができるよう、新たに給水車1台(容量3,000リットル)を導入しました。